



修学旅行～ちよつとひんやり でも あたたかに～

国スポの関係で今年は例年よりちよつと遅めの修学旅行となりました。修学旅行の前日は雨だったり結構冷え込んだりしましたが、旅行当日は動いていればさほどの寒さは感じないという日和りとなりました。どの学年も計画通りに実施できて何よりです。子ども一人一人、それぞれうれしい楽しいと思ったこと、いやだと思ったことなどいろいろあったと思いますが、これもこの先、思い出の一つになると思います。

1・2年生・・・嬉野市（嬉野消防署、肥前夢街道忍者村）

誰もが（？）一度はあこがれた忍者。かっこいい。

3・4年生・・・嬉野市・武雄市（志田焼きの里博物館、佐賀県宇宙科学館）

志田焼き絵付け。凝った下描き（構図）から実際の絵付けはシンプルになりました。

5年生・・・北九州市（いのちのたび博物館・TOTOミュージアム）

世界に誇る日本のトイレ。TOTOはトイレの常識を変えたのです。

6年生・・・長崎（平和祈念公園、原爆資料館 他、フィールドワーク）

平和は自分で歩いてはきません。私たちが平和に向かって歩くんです。



1・2年生
忍者村



3・4年生
志田焼きの里



5年生
TOTO ミュージアム



6年生
平和祈念公園

なかよし集会 ～『みんなとおなじくできないよ』～ おなじくなくて いいんだよ

11月26日のなかよし集会（人権集会）で、今年はケムケムさんに『みんなとおなじくできないよ』という絵本の読み語りをしていただきました。しょうがいのある弟をもつ兄の心の葛藤を描いた絵本です。「泣きそうになるのを必死でこらえながら読みました」というケムケムの田島さん。絵本の内容（メッセージ）もさることながら、読み手のそういう姿に気付いた子どもがいたらよいですね。

この日は、例年行っている各学級の「なかよし宣言」に加えて、ケムケムの一員でもあり、人権擁護委員をされている佐藤さんから千代田の人権擁護委員の紹介やSOSミニレターなど取り組みの紹介をしていただきました。



2年生 まち探検

2年生生活科「まち探検」は、本来予定していた日が雨予報だったことから、11月19日に延期して行いました。見学を依頼していた施設のあちこちに変更の連絡をして、担任や担当はてんてこまいでした。各施設や引率助っ人のおむすびチームの方々もなんとか調整をしていただき実施するに至りました。閉館や店休日に当たってしまい、その施設やお店は別日に設定するということもありました。誰もが予定や計画をもって日々の生活を送っていることがとても実感させられました。

19日は、好天でみんな元気に出かけ、帰校後に聞いた、おむすびチームさんからの報告も「みんなとても楽しそうでした」ということで安心しました。チームによって行き先の長短があったところも、おむすびさんが、回り道など臨機応変に対応していただき、どのチームもほぼ同時刻に帰校できました。

ご協力いただいた皆様に
「ありがとうございます。」



高志狂言～みんなちがってみんないい～



神崎市文化祭発表チーム



中部小校内発表チーム

最初の10月12日の高志神社奉納から、10月26日の神崎市文化祭、11月20日の校内発表と3つのチーム(計9名)の高志狂言披露が終わりました。私(校長)も昨年からずっと見ていて、台詞までとはいきませんが、ストーリーや所作などだいぶ覚えました。

おもしろいもので、同じ内容でも個々の演者やチームによって醸し出される雰囲気が微妙に違うことに気付かれます。今年度から毎回指導に来てくださっている指導者の島さんからすれば、可能な限り同じ所作や言い回しをすることを求められると思いますが、大人ではないので、そう簡単にはいきません。みんなそれぞれ違うところが、かえって見ている者には楽しいものです。9名の子ども達、地域の伝統をつないでいってくれてありがとう。

【高志神社奉納チーム】

松尾ひろむ、平松りょう、
松永わたる

【神崎市文化祭チーム】

江崎ゆあ、田中やえ、
境のか

【中部小発表チーム】

石川るな、吉田ゆいな、
島みらい 敬称略

なお今年度は、1月26日(日)に佐賀市文化会館にて佐賀県伝承芸能祭への出演があります。こちらは高志神社奉納チームが再び出演します。10時40分頃の出演予定です。



お話週間(お話タイム)

「へえー、そうなんだ。それで、それで？」

11月11日から20日にかけてお話週間を実施しました。1校時が始まる朝の時間を使って、子どもと担任とが話をします。担任は傾聴姿勢です。

私(校長)もずっと昔、一日の中で学級の子どもの何人と会話をしたのか一日の終わりに振り返って印を付けて調べてみたことがあります。かなり偏りがあつたことを覚えています。それで、日記でやりとりをと始めたところ、返信のコメントが追いつかず自身が挫折したことも。

本校職員もこのお話週間を通して、様々な気付きがあったと思います。



長崎 平和への誓い～長崎は今日も雨だった？～

「雨が降らなくてよかったねえ」と言っていたら急に空が暗くなって雨。「どうしよう」と言っていたら、日が差して虹が出て。修学旅行の長崎は、ころころと天気が変わりました。

幸いなことに屋外での活動のときは、ほとんど雨の影響はうけずに済みました。「私、雨女なんです」という随員の女性カメラマンさんが、平和祈念像の前で集合写真を撮ろうとしたときだけ、雨が降り出したりして笑い話のようでした。

今年は国スポの関係で、佐賀県の小学校はその期間をはずして修学旅行が組まれていたことから、この日の長崎は、佐賀県の小学校だらけでした。

今年の6年生の修学旅行もすばらしかったです。爆心地公園での「平和の集い」で響いた千代田中部小の『青い空は』の歌声。100人を超える大規模校の歌声より34名の中部小がはるかに大きな声でした。校長として、とてもうれしく思えた瞬間でした。

自主活動をメインとした2日間の行程をりっぱに終え、また一つ成長した6年生でした。



校長のひとりごと

「人生で一番大金を使ったかもしれない。」

長崎修学旅行で一緒に入ったカステラ屋で、からっぽになった財布におつりの小銭をしまいながら6年生が言いました。

昨今の物価高で値上がりもしているカステラです。お小遣いの五千円をやりくりしながら家族へのお土産を買っていました。

人生で初めて使った大金が、家族のためってよいですね。

私は、「すまん」と心の中でつぶやきながらカステラの代金一万円を支払いました。